



SA セメント プラス オートミックス®

使用用途

- 1) 金属、ジルコニア/アルミナ等の金属酸化物系セラミックス、無機物フィラーを含むレジン系材料、シリカ系ガラスセラミックス、歯科用陶材で作製したクラウン、ブリッジ、インレー、アンレーの接着
- 2) インプラントアバットメントまたはフレーム上への金属、ジルコニア/アルミナ等の金属酸化物系セラミックス、無機物フィラーを含むレジン系材料、シリカ系ガラスセラミックス、歯科用陶材で作製された補綴物の接着*
- 3) 接着ブリッジ、接着スプリントの接着*
- 4) 金属コア、レジンコア、金属ポスト、グラスファイバーポストの接着
- 5) 接着アマルガム修復*

* 使用用途の2)、3)及び5)の詳細な使用方法は添付文書をご参照ください。

用途の一例



使用用途1 クラウンの接着

通法にしたがい仮封材・仮着材の除去、窩洞、支台歯の清掃、防湿を行ってください。補綴修復物を試し、窩洞及び、支台歯との適合性を確認してください。

1 補綴修復物の前処理

補綴物の添付文書に従い前処理してください。指定がない場合は以下の方法を推奨します。

金属 又は ジルコニア/アルミナ等の金属酸化物系セラミックス、無機物フィラーを含むレジン系材料

被着面にアルミナ粒子(30~50μm)を用いて0.1~0.4MPaの空気圧でサンドブラスト処理・超音波洗浄(2分間)、エアブローで乾燥

シリカ系ガラスセラミックス*、歯科用陶材* → リン酸エッチング材の塗布・5秒後に水洗・乾燥 → セラミックス処理材の塗布・乾燥

5秒間放置

レジン系材料に対し、より高い接着を求める場合、リン酸処理及びセラミックス処理材を適用。

2 補綴修復物の被着面全体もしくは窩洞内に塗布*

(操作時間は表1参照)

* 窩洞内に塗布する場合は、シリンジを保護カバーで覆うこと。

3 クラウンの装着

4 余剰セメントの除去

① 余剰セメントに1ヶ所につき2~5秒光照射もしくは装着後、2~4分保持

② 半硬化した余剰セメントを探针等で除去

5 最終硬化 (5分保持*)

* 光を透過するクラウンの場合は光照射 (表2参照)

使用用途4 ポストの接着

通法にしたがい根管形成及び、根管充填を行った後、築造窩洞を形成し、ポストの試過後、ポストにサンドブラスト処理をしてください。(ADポスト II及びグラスファイバーポストはサンドブラスト処理不要です。)

1

ペーストを押し出し、気泡を巻き込まないようにポスト、もしくは築造窩洞内に注入* (操作時間は表1参照)

* 築造窩洞内に塗布する場合は、シリンジを保護カバーで覆うこと。

2

ポストを挿入*後、余剰ペーストを残存歯冠やポストのヘッド部に薄く広げる

* 気泡混入に注意すること。

3

残存歯冠やポストのヘッド部に対して、各面につき光照射 (表2参照)

4

支台築造用コンポジットレジンの添付文書にしたがい支台築造*

* 支台歯形成は植立から10分以上経過した後行うこと。

表1. 操作時間

操作時間 (23°C)	1分
ペーストを窩洞内に塗布した場合の操作時間 (37°C)	40秒

ご使用前には、必ず本品及び関連材料の添付文書をお読みください。

表2. 最終硬化時の光照射時間

分類	光源	光量	照射時間
高出力LED照射器	青色LED	1500 mW/cm ² 以上	(3秒または5秒)×2回
LED照射器		800~1400 mW/cm ²	
ハロゲン照射器	ハロゲンランプ	400 mW/cm ² 以上	10 秒

光量については各照射器の添付文書をご確認ください。

「SA セメント プラス オートミックス」に関するお問い合わせ先

製造販売元 **クラレリタケデンタル株式会社**
 〒959-2653 新潟県胎内市倉敷町2-28
 フリーダイヤル: 0120-330922

販売元 **株式会社モリタ**
 〒564-8650 大阪府吹田市垂水町3-33-18 TEL(06) 6380-2525
 〒110-8513 東京都台東区上野2-11-15 TEL(03) 3834-6161